

第4 「解隊式及び訓練終了式」

【実施概要】

(1) 11時50分～12時20分

(2) 参加部隊

中国・四国各県緊急消防援助隊、広島市消防局指揮支援隊、岡山市消防局指揮支援隊
神戸市消防局指揮支援隊、島根県内消防応援隊、訓練参加各機関

●解隊式

ア 活動終了報告 広島市消防局指揮支援部隊長 毛利徹
イ 解隊宣言 実行委員会委員長 島根県防災部長 岸川慎一

●訓練終了式

ア 訓辞 総務省消防庁国民保護・防災部防災課長 田辺康彦
イ あいさつ 島根県知事 溝口善兵衛
安来市長 近藤宏樹
全国消防長会中国支部長 広島市消防局長 山崎昌弘
ウ 講評 全国消防長会四国支部長 徳島市消防局長 小池和成
エ 閉会宣言 次期開催地消防長 宇和島地区広域事務組合消防本部消防長 宮田新介

【実施状況】



第5 「訓練検討会」

【実施概要】

- (1) 12時30分から13時00分
- (2) 参加者

広島市消防局指揮支援隊、岡山市消防局指揮支援隊長、神戸市消防局指揮支援隊長、各県大隊長、広島市消防局訓練検討員、岡山市消防局訓練検討員、訓練評価員（鳥取中部ふるさと広域連合消防局）、実行委員会委員長

【意見等内容】

- (1) 指揮支援部隊

●広島市消防局指揮支援部隊長

指揮支援隊の仕事は、現場活動隊のバックアップである。その中で神戸市消防局、岡山市消防局の指揮支援隊からの情報により、現場のオーダーや動きについてはしっかりと把握できたと思う。緊援隊が有効な活動をしていくのに繋げていく為には、それぞれの機関が連携を深めてニーズに応えられる、或いは協力していく体制が必要だと思う。訓練自体は、指揮支援の中では上手くまわっていたと思う。

●岡山市消防局指揮支援隊長

支援がどこまで出来たか分からないが、実際の緊援隊の活動はもっと大きい枡の中での指揮支援となると思う。集団救急的な部分でさえ、情報の収集が難しかったりするの、そういうところの工夫がより一層必要であると感じた。

●神戸市消防局指揮支援隊長

指揮支援隊としての動きとして、被災地消防本部からのオーダーに対してマネジメントをするのが指揮支援隊の役割。各大隊の資機材、人員、特色ある部隊を100パーセントのパフォーマンスが出せる現場に振り分けるための調整と支援を行った。土地勘がない場所で支援するので、現場から与えられた情報と、それを発信する情報の共有と集約の部分について、如何に県大隊に伝えることが出来るかという点だけを支援隊としてやらせていただいた。

- (2) 各県大隊長

● 今回の緊援隊の訓練は、統括県大隊長という初めての試みを行った訓練であった。それぞれの県隊で指揮隊をもって、それらを統括するという形でやらせていただいた。この体制をとるためには、現場を見る隊と、指揮隊を見る隊の2つの指揮隊ができるので、どのようになるのかなと思っていたが、実際にやってみると比較的現場を取りまとめることが出来たと思う。もしこの体制ができていなければかなり苦しい活動になったのではないかと感じた。

● この度の訓練では、検証を兼ねて進出拠点までのルート新しいルートを使用して進出してきたが、新しいルートも十分活用できるという検証ができた。

● 反省点は想定される必要資機材を積載可能な分だけ積載して来なければならなかったと

ということがある。事前に行われる県内での打ち合わせで、もう少し慎重に検討すべきであったと考え、資機材準備の不足について大きな反省点とし、次回の訓練に活かしていきたい。

- 統制波1波での部隊運用となることから、かなりの無線の錯綜が見られたので、そういった面については今後どのように無線統制等の手立てがされるのか興味を持っている。
- 傷病者が水没者ということでライフジャケットをつけたまま応急救護所に搬送してしまったために、後でライフジャケットを探すということになってしまった。応急救護所に「何番の現場の資機材集積場所」等を設けていただくとありがたい。

(3) 検討員・評価員

● 広島市消防局検討員

県庁、即応訓練、夜間訓練、部隊運用訓練を見させていただいた。訓練会場の設定やコントローラー等、しっかりと整備されていて、活動隊が訓練しやすい状況であったのではないと思う。後方支援会場においても、消防庁から指摘のあった除染やごみの管理等、打ち合わせで出た項目については全てリクエストに応じていた。

● 岡山市消防局検討員

指揮本部においては、現場からの映像を、タブレット等を使用して、現場到着と同時に指揮本部に配信し、指揮本部はそれを見ながら現場をイメージしていくという形になっており、非常に良かった。重要なポイントについても、横の連絡体制がしっかり取れていたのではないと思うので、今後の活動なども含めまして、大変役にたつと思うし、有意義な訓練が出来たのではないと思う。

● 鳥取中部消防局評価員

現地合同調整所は、実災害では必ず設置されると思うが、今回未設置であったのは、やはり「訓練の難しさ」というものがあつたのではないと思う。統括県大隊長から自衛隊や警察に指示が出ていたので、現地合同調整所という名前ではなかったというだけで、現場で調整は十分になされていたと理解している。この度の要請要綱の骨子の部分で「記録の体制」「統括大隊長」「迅速出動準備等」については、各隊で管理が出来ていたと思う。



第6 「事後検証会」

【実施概要】

(1) 平成30年1月22日(月) 14時00分から16時00分

(2) 場所

島根県消防学校 2階講堂

(3) 参加機関

総務省消防庁広域応援室、広島市消防局(訓練検討員)、岡山市消防局(訓練検討員)、安来市消防本部、松江市消防本部、雲南消防本部、出雲市消防本部、大田市消防本部、江津邑智消防組合消防本部、浜田市消防本部、益田広域消防本部、隠岐広域消防本部、島根県防災部消防総務課、同防災危機管理課、同健康福祉部医療政策課、島根県消防学校

【意見等内容】

1. 重点推進事項に関する課題と対策

●調整本部について

【広島市消防局】

- ・部隊長によると、到着時の引継ぎに際して、被害状況の報告や説明に終始し、どのような対応をするかという検討材料の報告が無かった。例えば、消防力をどれだけ注ぎ込んでいて、更にどれだけ必要としているのかが分からない。
- ・実質的なリーダーがいなかったと感じた。ここでも、被害状況の説明ばかりで、どのような方針で対応しようという話がなされていなかった。地図についても、「準備したので、それぞれ見て下さい。」ではなく、全員を集めて周知する必要があるのではないかと考える。
- ・部隊長到着までに、県内応援であるとか、緊援隊が到着した場合の部隊投入について検討されると思うが、訓練では消極的であったと見えた。

【県防災危機管理課】

- ・県対策本部の各班の指揮監督という立ち位置で訓練に臨んだ。実時間で進行する訓練の中で、発災後にヘリからの目視情報という細部が分からない形で災害状況を現示して行った。関係機関との協議では、とにかく早く被害の大きな地域に消防・自衛隊・警察を投入して行こうという流れで訓練が進行して行った。
- ・ボードや地図による情報共有は当然のことで、関係機関を集めて顔合わせや重要情報を共有し、指揮支援部隊長の到着までに認識の統一を図ることを、その都度しっかりとやって行かなければならなかったと思う。

【広島市消防局】

- ・各ブース(各班)では、それぞれボード等を利用しているのは分かったが、統一感がなかった。例えば、原発の情報等の重要事項は、防災課長等が代表者を集めて周知することが必要ではないか。それにより、関係機関からの意見も出てくると思う。
- ・訓練では指揮支援部隊の到着が遅れたが、調整本部は電話連絡により部隊長と情報共有することで、より早く活動方針の決定に繋がるものと思う。
- ・県対策本部の各ブースの横の繋がりができれば、より良い災害対応になると感じた。それを

まとめるのは、やはり防災課長が良いのではないか。

- ・応援の手配、手順にとられすぎて横の繋がりが少なかったのではないか。

●即応訓練・夜間訓練について

【広島市消防局】

- ・安全管理員等の配置は適切であったと思う。
- ・2県大隊が入る想定の際に、それぞれの大隊が救護指揮、救助指揮を実施していた。同じ区域で活動するのであれば、どちらかの県隊が救助指揮、どちらかが救護指揮をしたほうが情報の錯綜が無く、より良い指揮活動となったのではないか。
- ・切迫した手振り要救助者があるにも関わらず、指揮板に集結し活動方針を統一する姿が見られた。即応すべき事案には対応しつつ方針決定するべきであると感じた。

●後方支援活動について

【広島市消防局】

- ・消防庁より提案されていた除染活動や、ゴミ量調査についても、計画段階から取り入れ実施していた。

●部隊運用訓練について

【広島市消防局】

- ・訓練会場としては、高台から見学できる工夫等があった。また、コントローラーや安全管理員も適度に配置されており良かった。訓練時間も長く設定されており、ブラインド訓練において県大隊長が活動方針等を示していくための十分な時間があったと思う。
- ・出動車両が数珠つなぎになってしまったことが、課題の一つであったと思う。
- ・各機関との合同指揮所を設置している大隊が少なかったように見受けられた。合同指揮所を設置し、即座に関係機関からの意見を聴取できる体制が必要である。

○質疑及びコメント

【県消防総務課】

- ・図上訓練において、必要な車両数等の情報がまとまっていなかったとの反省があるが、県庁の事務職員が被害状況を聞いても必要部隊数は判断できないと思うが消防本部としてはどのような認識かご見解を伺いたい。

【広島市消防局】

- ・基本的には、消防本部が必要な部隊数等について、緊援隊はこっちのブース（現場）、県内応援隊はこっちのブースなどと報告するべきであるが、連絡がなければ県庁からも情報収集する必要があるのではないか。

【安来市消防本部】

- ・被災地消防本部が情報精査し発信することが必要であるが、本訓練において安来消防指揮本部から十分な情報発信が出来なかった。緊援隊に係る要請は、電話連絡による一報に次いで、必要な隊種別・規模等を書面での連絡が必要であることを、県と消防本部が認識を持った上で、相互に確認することが重要であると感じた。

●指揮本部・指揮支援本部について

【岡山市消防本部】

・指揮支援隊長によると、松江消防到着時、実災害の様に慌しい状況であり、災害状況把握に苦慮した。図面の提供を受けたが、全体地図と詳細地図が土地勘のない者からすると整合性が乏しかったように感じた、とのことであった。

・安来消防においても、指揮支援隊用のテーブルが用意されており、全体地図は掲示されていたが、指揮支援隊が利用する白地図の提供がなかった。また、指揮支援隊への説明担当職員の配置があれば指揮支援隊も理解しやすかったのではないかと感じた。

・安来消防では、通常の事務所を指揮本部として使用したが、フロア全てを利用しスペースのある指揮本部が設置できたのではないかと感じた。重要事項はトラメガ利用により職員周知がなされており良かった。事務所を指揮本部へ変更するのは難しいかもしれないが、普段から意識を持つ必要があると感じた。

●即応訓練・夜間訓練について

【岡山市消防局】

・即応訓練の東部分署において、見学者スペースと訓練場所が近すぎ、また、見学と活動隊との動線の区分けがはっきりしていなかった。

・夜間訓練時、参加部隊の遅延もあったようだが、訓練開始等がメリハリに欠ける部分があった。

●部隊運用訓練について

【岡山市消防局】

・訓練会場としては、全体が見渡せ良かったが、見学者の子供がどんどん前へ出ていたので、落下防止等の措置があった方が良かったのではないかと感じた。

・訓練としては、iPad を利用した指揮支援隊への報告が逐次あったので良かったと思う。それをプリントアウトし情報共有も図られていたので、実災害の様に有効活用ができていたと感じた。

○質疑及びコメント

【松江市消防本部】

・指揮支援隊到着時の図面の不備、情報伝達不備について、受援本部として指揮支援隊を迎えるイメージを持ち訓練を迎えたが、内部的な訓練に終始し指揮支援隊への配慮が足りなかったという反省があり、今後に活かしたい。

・東部分署では、当初、見学者は活動禁止区域に配置すれば良いと安易に考えていたが、結果として近くなってしまった。緊援隊訓練開催について事前に周辺に情報提供したところ 200 名以上の見学があった。今後しっかり見学スペース等を検討したい。

・夜間訓練について、県大隊の到着遅れや車両待機スペースが狭く、訓練開始がごたごたしてしまった。

・訓練を終え感じたことであるが、各訓練については十分に計画したが、全体を通じてのコントローラーが必要であったと感じている。

【安来市消防本部】

・指揮支援隊への災害状況の伝達について、ホワイトボードを使い時系列で災害概況を説明

し、次いで災害状況を大型地図で説明を実施した。その後、指揮支援隊からの要請により、白地図の提供及び、その地図への書き込み等を実施する指揮本部職員を配置した。

- ・2日目の訓練会場の安全管理について、高台からの視認性を重視し柵等の設置や警戒要員の配置をしなかったが、安全管理面で配慮が足りなかったと感じた。

- ・出勤車両の動線には会場の状況からして苦慮した。会場手配・整備等に掛る負担は大きく、今後の緊援隊の訓練規模の見直しの余地について検討して頂きたい、提言させて頂く。

【広島市消防局】

- ・本来であればブラインド訓練ではあるが、事前に出動隊の部署位置を指定するという考えはなかったか？

【安来市消防本部】

- ・前日の活動ミーティングにおいて、大まかな活動区域、会場条件による通行不能箇所等は伝達していたが、部署位置の指定はしていなかった。

【広島市消防局】

- ・動線が1つしか設定出来ない様な会場では、渋滞の可能性を伝えると共に、事前に部署位置の指定をしておき、現場到着後からブラインドが始まるというのも手法の一つである。広大な訓練会場が準備できれば良いが、訓練会場にはどこも苦慮しているので、全てブラインドでやるのは無理があると感じた。

2. 島根県内消防本部の参加隊・評価員による意見等

● 出動時の資機材搬送について

【大田市消防本部】

- ・大田消防は、県内応援隊の消火小隊として訓練参加したが、宿営資機材等を消防車に積載して出動するにあたり、通常消防車に積載している資機材を降ろしたという経緯があった。他本部の後方支援隊と資機材の共有や運搬の協力をして行くということを県の応援計画の中で役務を事前に決めておけば出動がスムーズになるのではないかと思い提言させて頂いた。

○ 見解・コメント

【松江市消防本部】

- ・柔軟に対応する必要がある。過去の実績においても、資器材の運搬等について事前に調整して出動した経緯もあるので、計画や要綱等に載せるべきであると考えている。また、受援側が求める規模や宿営地の状況も様々であるので、都度調整は必要になってくると思う。

● DMA Tについて

【出雲市消防本部】

- ・DMA Tについて、救護所内で一人が抱えるウエイトがかなり大きかったのではないかと感じた。その状況で、災害現場での活動の優先順位は低いと考える。また、それに関連してDMA T調整本部と活動拠点病院との繋がりが少なかったと感じた。訓練のボリュームは多々であったが人数を増やす等で若干対応が出来たのかもしれない。

○ 見解・コメント

【県医療政策課】

- ・開催説明に際し、訓練で現場救護を実施する機会が少ないため、DMA Tチームから現場救

護に入りたいとの要望があった。また、前週にも中国五県の訓練があり2週連続でのDMAT派遣となると各病院においても派遣が厳しく、県内チームの集まりが悪かったと思う。もう少し早めに医療側と日程調整が出来ると良かったと思う。

・DMATでの反省においても、DMAT活動拠点本部に十分な人員配置が出来ず、情報伝達がスムーズに行かなかったとの意見があった。これも参加病院が少なかったことに起因するかもしれない。今後、事前調整も含めて、医師会、歯科医師会等の関係団体の救護班も含めて広く声掛けが必要と感じた。

3. 訓練全般をとおしての意見等

●後方支援について

【消防庁広域応援室】

・人員輸送は県が観光バス等をチャーターし人員輸送が出来るのと同じく、資機材搬送も同様に対応できる可能性が高いと捉えて頂きたい。全ての資機材を松江消防に預けるのではなくそういった手段も検討してみてはどうか。

●消防応援の要請基準について

【消防庁広域応援室】

・各本部内で、どの程度の災害規模であれば近隣応援を呼んで、県内応援を呼んで、緊援隊を要請するのか基準を定めている本部はあるか。

【益田広域消防本部】

・まずは、近隣応援、次に県内応援、そして緊援隊要請という指針はあるが、ではどの程度の災害規模かという所は定まっておらず、基準を定めるにあたり苦慮している。

【浜田市消防本部】

・昨年、保有ポンプ車9台中8台が出動する火災事案があった。結局、要請には至らなかったが基本的には現有消防力の7割が投入される災害時に隣接応援を要請すると決めている。結果として7割を超えたが要請しなかった。また、昨年の九州北部豪雨の前日、全職員・全団員を招集して対応した水害事案の際には、松江消防からいつでも応援出動可能であるとの連絡があり、ありがたかった。しかし、これも要請には至っていない。

【消防庁広域応援室】

・なかなか被災している消防本部は事案に全力投球すると、応援要請を検討する余裕がないということを知っている。正解はないと思うが、現有消防力の7割が出動するとか、119番が多数入電するとか、何らかの基準を決めておいた方がよい。今後、検討頂きたい。

【県防災危機管理課】

・県としては、災害救助法が適用される災害に拡大するのかが目安にあるのかなと考えている。それを超えると見込まれる場合には、空振りでも良いので広域応援を要請する必要があると考えている。

●県内消防応援隊の体制について

【松江市消防本部】

・県内応援隊は当初、様々な場所で活動をしているが、緊援隊が入ってきた際にどのタイミン

グで県内隊を1つにして、どこの指揮支援隊の指揮下に置くか、またはそのままで緊援隊と連携させるか、どうあるべきか意見を伺いたい。

【広島市消防局】

・一概には言えないが、緊援隊が来るにはやはり時間がかかる。即応できる県内隊は、宿営等は考慮せず直ちに応援出動し、必要に応じ翌朝に交代要員を派遣する体制であるべきと考える。応援出動している県内隊は地元が手薄になっているので、緊援隊到着後は指揮支援隊等と協議し、撤退か、必要に応じて交代しながら継続するものであるべきと考える。

【岡山市消防局】

・九州北部豪雨に指揮支援隊として出動した際には、緊援隊到着までは当然のことながら県内隊が災害対応していた。緊援隊到着後も県内隊と活動を共にすることはなかった。県内隊は、日替わりで通常勤務の中での派遣となるかもしれないが、この災害では、局所的な災害であり県内の他地域に被害はなく、緊援隊よりも長期的な活動となった。決まりは無いが、災害の状況により異なるのではないか。

●地図による情報共有の手法について

【消防庁広域応援室】

・松江消防の評価に入ったが、地図について、大きな地図はあったが手交する地図というものがなかった。県外から来る者としては、この地図を見て下さいだけでは、その地図と持参した地図が更新の相違により、情報が錯綜する可能性がある。収集した情報のコピーを渡すこと、または持参して来た地図に情報を落とししてもらい、最終的に大判の地図に集約し、情報を共有するという手法を検討して欲しい。

・指揮支援隊が来て引継ぎする際に、一度に大量の情報を伝えるだけでは把握しきれない。しかし、情報を落とし込んだコピーを渡すと見直すことができる。自分が引き継がれた場合の事を考え準備する必要があるのではないか。

・2日目の部隊運用訓練で、車が1台スタックし、かなり傾いていた。実災害でも地盤が悪い事はある。訓練においても状況把握、判断しながら実施することには変わりはない。スタックするのは仕方ないが、傾くまでタイヤを回しては事故に繋がる可能性があった。緊援隊は、その場で終わりではなく転進する可能性もある。事故になれば、その隊又は大隊が動けなくなる可能性もあるので大隊長等はきちんと管理する必要がある。

・浜田消防が代表消防機関代行としての訓練実施となったが、「情報がない、情報がない」ではなく、被災地側には「情報を送る余裕がない」のだと判断し、情報を取りに行かなくては行けない。被災している本部は手一杯なので、周りがフォローするというのが、県内応援体制と思う。必要な台数の報告は現場では厳しいのが実情で、県内応援側が「これだけの隊数が応援出動可能だが、どのくらい必要か？」と幅を持った選択肢を提供する。そこが、横の繋がりが強い県内応援の良い所だと思う。それを取りまとめるのが、今回であれば浜田消防であったと思う。

・後方支援車は、基本的には県に一台しか配置できない。県大隊で使用する車両なので、県一括で後方支援を実施して欲しい。また、各本部にどういう資機材があるのかリストアップし、規模によって選定して行く必要があるのではないか。様々な可能性を考慮し、事前計画を立てることにより出動は容易になる。今回の訓練を基に、意見を出し合い応援計画に反映させて

行くことが重要である。それが出来てこそ、訓練をやって頂いた甲斐がある。実災害時に役立つはずなので、訓練担当した松江消防・安来消防が中心となって取りまとめて頂ければと考える。

4. 総括

【消防庁広域応援室】

・様々な意見、課題が出ているということは非常に良い訓練であったと思う。担当者の異動はつきものであるが、この案件を引き継ぐことは出来るので、継続的に様々な意見を出し合って、より良い計画を作成して欲しい。

・重点推進事項を熟慮の上、PDCAサイクルを重視して欲しい。訓練をやって終わりではなく、改善に取り組んで欲しい。緊援隊制度・諸計画の見識を深めることは消防職員であるならば当然のことと捉え、訓練の課題、奏功事例を踏まえて、より良い受援体制が構築出来るように取り組んで頂きたい。

●事後検証会 開催風景



第7 訓練企画運営

1 企画運営体制

島根県並びに県内9消防本部をもって組織する「平成29年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練実行委員会」（以下「実行委員会」という。）及び実行委員会の下部組織として、「作業部会」を平成28年度に設立し、訓練の企画立案及び運営を行った。

(1) 実行委員会

区 分	所 属	役 職
委 員 長	島根県防災部	部 長
副 委 員 長	安来市消防本部（開催地消防本部）	消 防 長
副 委 員 長	松江市消防本部（代表消防機関）	消 防 長
副 委 員 長	浜田市消防本部（代表消防機関代行）	消 防 長
委 員	島根県防災部消防総務課	課 長
委 員	島根県防災航空管理所	所 長
委 員	出雲市消防本部	消 防 長
委 員	益田広域消防本部	消 防 長
委 員	大田市消防本部	消 防 長
委 員	江津邑智消防組合消防本部	消 防 長
委 員	雲南広域連合雲南消防本部	消 防 長
委 員	隠岐広域連合消防本部	消 防 長
監 事	島根県防災部消防総務課	消 防 G L
監 事	松江市消防本部	消防総務課長
事 務 局	安来市消防本部消防総務課	

(2) 作業部会

区 分		所 属	役 職・階 級
部 会 長		安来市消防本部	消防次長
副 部 会 長		松江市消防本部	消防次長
		安来市消防本部	警防課長
		島根県防災航空管理所	防災航空隊長
訓 練 班	班 長	松江市消防本部	警防課長補佐
	副 班 長	安来市消防本部	警防課主査
		松江市消防本部	警防救助係長
	班 員	安来市消防本部	警防課主幹
			警防課主幹
			警防課主幹
			警防課主任
			通信指令課主幹
		松江市消防本部	警防救助主査
			特殊災害対策主査
			通信主査
		島根県防災部消防総務課	主任主事
		島根県健康福祉部医療政策課	主任主事
		島根県立中央病院	主任
		島根県防災航空管理所	防災航空隊副隊長
		出雲市消防本部	救急第2係長
		浜田市消防本部	警防係長
		益田広域消防本部	救助係長心得
	大田市消防本部	副署長	
	江津邑智消防組合消防本部	警防課長補佐	
雲南広域連合雲南消防本部	救助係長		
隠岐広域連合消防本部	警防係長		
運 営 班	班 長	安来市消防本部	消防総務課主査
	副 班 長	松江市消防本部	消防総務課長補佐
		島根県防災部消防総務課	企画員 S L
	班 員	安来市消防本部	消防総務課主幹
			消防総務課主幹
消防総務課主任			

運 營 班	班 員	松江市消防本部	消防総務課主幹	
			消防総務課総務主査	
		出雲市消防本部	救助第2係長	
		浜田市消防本部	救急救助係長	
		益田広域消防本部	消防係長	
		大田市消防本部	消防係長	
		江津邑智消防組合川本消防署	消防第1係長	
		雲南広域連合雲南消防本部	警防係長	
	隠岐広域連合消防本部	主任		
会 場 班	班 長	安来市消防本部	予防課長	
	副班長	松江市消防本部	予防課長補佐	
		島根県防災部消防総務課	主任	
	班 員	安来市消防本部		予防主査
				予防課主幹
				予防課主幹
		松江市消防本部		予防主査
				危険物保安主査
				予防課主任
		島根県防災部消防総務課	主任	
		出雲市消防本部	救急救助係長	
		浜田市消防本部	消防団係長	
		大田市消防本部	消防係主任	
江津邑智消防組合江津消防署	予防係長			
雲南広域連合雲南消防本部	予防係長			
隠岐広域連合消防本部	消防士長			
事務局	松江市消防本部警防課			

2 会議の開催状況

開催日	会議名	開催場所	議題等
H28. 4. 7	第1回実行委員会	松江市消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方針 ・実行委員会設置要綱 ・作業部会設置要綱 ・実行委員会事務局規程
H28. 11. 11	第1回作業部会	安来市消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練各実施場所（案） ・訓練趣旨、概要（案） ・訓練実施項目（案） ・各班任務概要（案） ・会場視察
H29. 2. 8	消防庁ヒアリング	総務省消防庁	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練概要説明
H29. 4. 11	第2回実行委員会	松江市消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会設置要綱（改正案） ・作業部会設置要綱（改正案） ・事務局規程（改正案） ・進捗状況報告
H29. 5. 23	事前調整会議	総務省消防庁	<ul style="list-style-type: none"> ・消防庁担当者への訓練企画説明
H29. 5. 26	第2回作業部会	島根県消防学校	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況について ・今後のスケジュールについて
H29. 7. 11	第3回作業部会	書面会議	<ul style="list-style-type: none"> ・合同訓練実施計画 (内容確認、意見集約)
H29. 7. 25	全体会議	安来市学習センター	訓練参加消防機関及び関係機関等（広域応援室含む） <ul style="list-style-type: none"> ・訓練実施計画説明 ・訓練会場視察
H29. 7. 26	事前連絡会議	松江市消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ・次期開催地への事務要領等説明
H29. 8. 29～30	第4回作業部会	県内各消防本部 (松・安・隠除く)	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練支援員への役務説明
H29. 10. 11	第5回作業部会	安来市消防本部 中海ふれあい公園	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練進行要領説明
H30. 1. 22	事後検証会	島根県消防学校	<ul style="list-style-type: none"> ・重点推進事項に関する課題と対策等
H30. 2. 2	第3回実行委員会	島根県消防学校	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練実施結果報告 ・監査報告 ・実行委員会要綱廃止

参加部隊一覧表

資料(1)

1. 指揮支援部隊

隊名	部隊種別	消防本部名	車両種別	人員	備考
広島市消防局 指揮支援隊	指揮支援隊	広島市消防局	ヘリ輸送	5	広島県防災ヘリ
岡山市消防局 指揮支援隊	指揮支援隊	岡山市消防局	ヘリ輸送	4	
神戸市消防局 指揮支援隊	指揮支援隊	神戸市消防局	指揮車	8	神消中央75

2. 県内消防応援隊

隊名	部隊種別	消防本部名	車両種別	人員	備考
島根県内 消防応援隊	県内消防 応援隊指揮隊	浜田市消防本部	指揮車	4	
		松江市消防本部	指揮車	4	消防庁無償使用
	消火小隊	大田市消防本部	ポンプ車	5	
		雲南消防本部	水槽付消防ポンプ自動車	5	
		隠岐広域連合消防本部	化学消防ポンプ自動車	5	
	救助小隊	出雲市消防本部	救助工作車 II型	5	
		江津邑智消防組合消防本部	津波大規模風水害対策車両	5	消防庁無償使用
		江津邑智消防組合消防本部	救助工作車 II型	5	
	救急小隊	浜田市消防本部	高規格救急車	4	
		出雲市消防本部	高規格救急車	4	
		益田広域消防本部	救急車	3	
		雲南消防本部	高規格救急自動車	3	
	後方支援小隊	出雲市消防本部	燃料補給車	3	消防庁無償使用
		益田広域消防本部	人員輸送車	2	消防庁無償使用
		益田広域消防本部	通信支援車	2	ボート搬送用車両
		松江市消防本部	支援車	3	
		出雲市消防本部	資機材搬送車	2	消防庁無償使用
		安来市消防本部	資機材搬送車	5	
	特殊装備小隊	松江市消防本部	梯子車	5	
		松江市消防本部	重機	3	消防庁無償使用

※黄色の網掛けは、統合機動部隊として出動

3. 各県大隊・統合機動部隊(中国地区)

県隊名	部隊種別	消防本部名	車両種別	人員	備考
鳥取県大隊	県大隊指揮隊	鳥取県西部広域行政管理組合消防局	指揮車	4	
	消火小隊	鳥取県東部広域行政管理組合消防局	タンク車	5	
		鳥取中部ふるさと広域連合消防局	ポンプ車	5	
		鳥取県西部広域行政管理組合消防局	米子3号車	2	
		鳥取県西部広域行政管理組合消防局	米子搬送車	2	
	救助小隊	鳥取県東部広域行政管理組合消防局	救助工作車Ⅲ型	5	
		鳥取中部ふるさと広域連合消防局	救助工作車Ⅱ型	5	
		鳥取県西部広域行政管理組合消防局	救助工作車	5	
	救急小隊	鳥取県東部広域行政管理組合消防局	救急車	3	
		鳥取中部ふるさと広域連合消防局	救急車	3	
		鳥取県西部広域行政管理組合消防局	救急車	3	
	通信支援小隊	鳥取県東部広域行政管理組合消防局	指揮車	3	消防庁無償使用
	後方支援小隊	鳥取県東部広域行政管理組合消防局	資機材搬送車	2	
		鳥取県東部広域行政管理組合消防局	燃料補給車	2	消防庁無償使用
		鳥取中部ふるさと広域連合消防局	指揮車	2	
		鳥取中部ふるさと広域連合消防局	資機材搬送車	2	
		鳥取県西部広域行政管理組合消防局	支援車	2	消防庁無償使用
		鳥取県西部広域行政管理組合消防局	機動連絡車	2	消防庁無償使用
特殊装備小隊	鳥取県西部広域行政管理組合消防局	水難支援車	4		

県隊名	部隊種別	消防本部名	車両種別	人員	備考
岡山県大隊	県大隊指揮隊	岡山市消防局	指揮車	4	消防庁無償使用
		倉敷市消防局	指揮車	4	
	消火小隊	真庭市消防本部	ポンプ車	5	
		赤磐市消防本部	ポンプ車	5	
		東備消防組合	ポンプ車	5	
	救助小隊	岡山市消防局	救助工作車Ⅲ型	5	
		笠岡地区消防組合消防本部	救助工作車Ⅱ型	5	
		岡山市消防局	津波・大規模風水害対策車	5	消防庁無償使用
	救急小隊	高梁市消防本部	高規格救急車	3	
		新見市消防本部	高規格救急車	3	
		総社市消防本部	高規格救急車	3	
	後方支援小隊	岡山市消防局	拠点機能形成車	2	消防庁無償使用
		津山圏域消防組合	支援車Ⅰ型	4	消防庁無償使用
		美作市消防本部		1	
		岡山市消防局	指揮車	2	
		岡山市消防局	燃料補給車	2	消防庁無償使用
特殊装備小隊	岡山市消防局	重機	3	消防庁無償使用	
ヘリコプター	岡山市消防局	BK117C-2	5		

県隊名	部隊種別	消防本部名	車両種別	人員	備考
広島県大隊	県指揮隊	広島市消防局	指揮車	5	消防庁無償使用
	消火小隊	三原市消防本部	ポンプ車	4	
		大竹市消防本部	タンク車(CAFS)	3	
		府中町消防本部	消防ポンプ自動車	3	
		江田島市消防本部	化学消防ポンプ自動車	4	
		安芸高田市消防本部	水槽付消防ポンプ自動車	5	
		北広島町消防本部	ポンプ車	5	
	救助小隊	福山地区消防組合消防局	救助工作車Ⅲ型	5	
		呉市消防局	救助工作車Ⅲ型	5	
		備北地区消防組合消防本部	救助工作車Ⅱ型	4	
	救急小隊	尾道市消防局	高規格救急車	3	
		東広島市消防局	高規格救急車	3	
		備北地区消防組合消防本部	高規格救急車	3	
	通信支援小隊	福山地区消防組合消防局	無線中継車	3	消防庁無償使用
	後方支援小隊	広島市消防局	機動連絡車	4	消防庁無償使用
		広島市消防局	支援車Ⅰ型	6	消防庁無償使用
		広島市消防局	燃料補給車	2	消防庁無償使用
		広島市消防局	資器材搬送車	2	
		広島市消防局	予防1	5	航空支援(航空隊員)
		福山地区消防組合消防局	支援車Ⅰ型	4	消防庁無償使用
		呉市消防局	輸送車	2	
		尾道市消防局	資器材搬送車	2	
		三原市消防本部	支援車(ワンボックス)	2	救急支援車
		大竹市消防本部	資機材搬送車	2	
		東広島市消防局	資機材輸送車	2	
		備北地区消防組合消防本部	資機材搬送車	2	
		廿日市市消防本部	資機材搬送車	3	消防庁無償使用
		府中町消防本部	資機材搬送車	2	
江田島市消防本部		資機材搬送車	2		
安芸高田市消防本部		資機材搬送車	2		
北広島町消防本部		輸送車	1		
特殊装備小隊	広島市消防局	特別高度工作車	3	消防庁無償使用	
	廿日市市消防本部	大型水槽車	2		

県隊名	部隊種別	消防本部名	車両種別	人員	備考
山口県大隊	県大隊指揮隊	下関市消防局	指揮車	5	消防庁無償使用
	消火小隊	山口市消防本部	化学消防ポンプ自動車	5	
		長門市消防本部	消防ポンプ自動車	5	
		宇部・山陽小野田消防局	水槽付消防ポンプ自動車	5	
	救助小隊	周南市消防本部	救助工作車Ⅱ型	5	
		下関市消防局	救助工作車Ⅲ型	5	
	救急小隊	防府市消防本部	高規格救急車	3	
		周南市消防本部	高規格救急車	3	
	後方支援小隊	下関市消防局	支援車Ⅰ型	7	
		下関市消防局	燃料補給車	不参加	消防庁無償使用
		周南市消防本部	支援車Ⅰ型	6	消防庁無償使用
		萩市消防本部	指揮車	3	
		岩国地区消防組合消防本部	資機材搬送車	3	
		長門市消防本部	資機材搬送車		消火小隊で運用
	宇部・山陽小野田消防局	資機材搬送車		消火小隊で運用	
備考	※燃料補給車は不具合により不参加。				

4. 各県大隊(四国地区)

県隊名	部隊種別	消防本部名	車両種別	人員	備考
香川県大隊	県大隊指揮隊	高松市消防局	指揮隊車	4	消防庁無償使用
	消火小隊	丸亀市消防本部	ポンプ車	5	
		大川広域消防本部	タンク車	5	
	救助小隊	高松市消防局	救助工作車Ⅲ	5	
		三観広域行政組合消防本部	救助工作車Ⅱ	5	
		善通寺市消防本部	救助工作車Ⅱ	5	
	救急小隊	高松市消防局	救急車	3	
		坂出市消防本部	救急車	3	
		仲多度南部消防組合消防本部	救急車	3	
		小豆地区消防本部	救急車	3	
	後方支援小隊	高松市消防局	支援車Ⅰ	8	消防庁無償使用
		高松市消防局	資機材搬送車	2	消防庁無償使用
		丸亀市消防本部	燃料補給車	2	消防庁無償使用
三観広域行政組合消防本部		資機材搬送車	2		

徳島県大隊	県大隊指揮隊	徳島市消防局	指揮車	4	消防庁無償使用
		徳島中央広域連合消防本部		1	
	消火小隊	美馬市消防本部	ポンプ車	5	
	救助小隊	鳴門市消防本部	救助工作車Ⅱ型	5	
	救急小隊	板野東部消防組合消防本部	高規格救急車	3	
		海部消防組合消防本部	高規格救急車	3	
	後方支援小隊	徳島市消防局	支援車Ⅰ型	4	消防庁無償使用
徳島市消防局		資機材搬送車	2	消防庁無償使用	
みよし広域連合消防本部		資機材搬送車	3		

愛媛県大隊	県大隊指揮隊	松山市消防局	指揮車	5	消防庁無償使用
	消火小隊	八幡浜地区施設事務組合消防本部	水槽付消防ポンプ自動車	5	
		四国中央市消防本部	水槽付消防ポンプ自動車	5	
	救助小隊	松山市消防局	救助工作車Ⅱ型	5	
	救急小隊	西予市消防本部	高規格救急車	3	
		東温市消防本部	高規格救急車	5	
	後方支援小隊	松山市消防局	拠点機能形成車	2	消防庁無償使用
		松山市消防局	燃料補給車	2	消防庁無償使用
八幡浜地区施設事務組合消防本部		支援車Ⅰ型	3	消防庁無償使用	
		今治市消防本部	資機材搬送車	2	

高知県大隊	県大隊指揮隊	高知市消防局	指揮車	3	消防庁無償使用
		仁淀消防組合消防本部		1	—
	消火小隊	南国市消防本部	タンク車	3	—
		香美市消防本部		2	—
		高幡消防組合消防本部	タンク車	3	—
		高吾北広域町村事務組合消防本部		2	—
			高知市消防局	タンク車	5
	救助小隊	高知市消防局	救助工作車Ⅲ型	5	
	救急小隊	嶺北広域行政事務組合消防本部	高規格救急車	2	—
		仁淀消防組合消防本部		1	—
	通信支援小隊	高知市消防局	無線中継車	3	消防庁無償使用
	後方支援小隊	香南市消防本部	資器材搬送車	2	消防庁無償使用
		高知市消防局	燃料補給車	2	消防庁無償使用
高知市消防局		支援車Ⅰ型	3	消防庁無償使用	
土佐市消防本部			2	—	

鳥取県

	小隊等種別	隊数	装備車両	消防庁無償使用
統合機動部隊	統合機動部隊指揮隊	2隊	指揮車	○
	消火小隊	3隊	タンク車・ポンプ車	×
	救助小隊	3隊	救助工作車	×
	救急小隊	3隊	高規格救急車	×
	後方支援小隊	3隊	後方支援車	○
	通信支援小隊	1隊	指揮広報車	×
県大隊	県大隊指揮隊	3隊	指揮車	○
	消火小隊	17隊	ポンプ車 タンク車 化学車	×
	救助小隊	3隊	救助工作車	×
	救急小隊	7隊	高規格救急車	×
	後方支援小隊	7隊	支援車 搬送車 燃料補給車	○
	通信支援小隊	1隊	指揮広報車	×
	特殊災害小隊	3隊	毒劇物対応車	×
	特殊装備小隊	3隊	水難救助車×1 はしご車×2	×

岡山県

	小隊等種別	隊数	装備車両	消防庁無償使用
統合機動部隊	統合機動部隊指揮隊	1隊	指揮車	○
	消火小隊	3隊	水槽付ポンプ自動車(2,000L) 2台 CD1 1台	×
	救助小隊	2隊	救助工作車Ⅲ型2台	×
	救急小隊	3隊	高規格救急車3台	×
	後方支援小隊	1隊	支援Ⅰ型	×
	通信支援小隊	1隊	無線中継車	○
県大隊	県大隊指揮隊	3隊	指揮車	×
	消火小隊	29隊	CD1など	×
	救助小隊	10隊	津波・大規模風水害車など	○
	救急小隊	21隊	高規格救急車	×
	後方支援小隊	12隊	拠点機能形成車 支援車Ⅰ型 燃料補給車 大型除染システム搭載車 空気充填車 人員輸送車(21人)など	○ ○ ○ ○ ○ ○
	特殊災害小隊	3隊	特殊災害対応車(ハズマツ)など	○
	特殊装備小隊	9隊	大型ブローカー車 大型水槽車 重機・重機搬送車 梯子車 梯子車(屈折25m)など	○ × ○ × ×

広島県

	小隊等種別	隊数	装備車両	消防庁無償使用
統合機動部隊	統合機動部隊指揮隊	1隊	指揮車	○
	消火小隊	3隊	水槽付消防ポンプ自動車 消防ポンプ自動車	×
	救助小隊	4隊	救助工作車	×
	救急小隊	3隊	救急車	×
	後方支援小隊	4隊	支援車2台、燃料補給車 資器材搬送車	○ ×
	通信支援小隊	1隊	無線中継車	○
県大隊	県大隊指揮隊		(統合機動部隊指揮隊)	
	消火小隊	10隊	水槽付消防ポンプ自動車 消防ポンプ自動車 化学消防ポンプ自動車 など	×
	救助小隊	3隊	救助工作車	×
	救急小隊	6隊	救急車	×
	後方支援小隊	12隊	資器材搬送車	1台○
	特殊災害小隊		必要な場合に派遣	
	特殊装備小隊		必要な場合に派遣	

消防庁 無償使用	機動連絡車
	特別高度工作車
	大型除染システム搭載車(平成30年3月配備予定)

山口県

	小隊等種別	隊数	装備車両	消防庁無償使用
統合機動部隊	統合機動部隊指揮隊	1隊	指揮車 1台	×
	消火小隊	2隊	消防ポンプ自動車 1台 化学消防ポンプ自動車 1台	×
	救助小隊	2隊	救助工作車Ⅲ型 2台	×
	救急小隊	2隊	高規格救急車 2台	×
	後方支援小隊	1隊	支援車Ⅰ型 1台	○
	備考	※被災県によって統合機動部隊の編成が変わる。 上記は島根県が被災した際の編成。		
県大隊	県大隊指揮隊	2隊	指揮車 2台	指揮車1台無償使用
	消火小隊	27隊	消防ポンプ自動車 14台 水槽付消防ポンプ自動車 9台 化学消防ポンプ自動車 4台	×
	救助小隊	7隊	救助工作車Ⅱ型 4台 救助工作車Ⅲ型 3台	×
	救急小隊	19隊	高規格救急車 19台	×
	後方支援小隊	11隊	支援車Ⅰ型 2台 燃料補給車 1台 資器材搬送車 5台 人員輸送車 2台 起動連絡車 1台	支援車Ⅰ型1台無償使用 燃料補給車1台無償使用 資器材搬送車1台無償使用 人員輸送車1台無償使用
	特殊災害小隊	2隊	その他の車両 2台	×
	特殊装備小隊	水難救助小隊 2隊	その他の車両 2台	×
その他の特殊な装備を用いて消防活動を行う小隊 4 隊		はしご自動車 2台 屈折はしご自動車 1台 大型水槽車 1台	×	

兵庫県

	小隊等種別	隊数	装備車両	消防庁無償使用
統合機動部隊	統合機動部隊指揮隊	1隊	指揮車	○
	消火小隊	2隊	消防ポンプ自動車	×
	救助小隊	2隊	救助工作車Ⅱ型 資機材搬送車	×
	救急小隊	2隊	高規格救急車	×
	後方支援小隊	1隊	支援車Ⅰ型	○
	通信支援小隊	1隊	無線中継車	○
県大隊	県大隊指揮隊	4隊	指揮車	
	消火小隊	21隊	消防ポンプ自動車 化学消防ポンプ自動車	
	救助小隊	11隊	救助工作車Ⅱ型など	
	救急小隊	16隊	高規格救急車	
	後方支援小隊	21隊	支援車Ⅰ型など	
	通信支援小隊	2隊	無線中継車	
	特殊災害小隊	7隊	大型化学高所放水塔車 遠距離送水用大型ポンプ車など	
	特殊装備小隊	13隊	ホース延長車など	

おわりに

この度の合同訓練を企画するにあたり、山口県、岡山県、徳島県、香川県、鳥取県、そして長崎県の各消防本部からご指導・ご助言を頂き、効率的に進めることができ、感謝を申し上げます。また、被災地としての緊急消防援助隊との連携及び受援体制に係る検証と貴重な経験を積むことができ、大変有意義な訓練となりました。

最後に、この実施結果報告書の作成にあたり、多大なご支援ご協力を頂きました中国四国各県代表消防機関、並びに広島市、岡山市、神戸市の各消防局の皆様に感謝を申し上げます。

平成29年度中国・四国ブロック

緊急消防援助隊合同訓練実行委員会事務局

平成 29 年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊
合同訓練実行委員会



【問い合わせ】

島根県防災部消防総務課 TEL 0852-22-5884/6260 FAX0852-22-5930

Email : shobo-somu@pref.shimane.lg.jp

松江市消防本部（警防課）TEL : 0852-32-9131 FAX : 0852-22-9876

Email : fdpt-keiboh@city.matsue.lg.jp

安来市消防本部（警防課）TEL : 0854-23-3431 FAX : 0854-23-1987

Email : syoubou-k@city.yasugi.shimane.jp